

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(明戸中学校)

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
明戸中	下回った	下回った	上回った	下回った	上回った	下回った	下回った	下回った
埼玉県	59.9	60.3	66.4	53.5	48.8	57.5	61.9	54.6

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
明戸中	7-B	7-A	9-C	6-B	7-A	7-A	8-B	9-B
埼玉県	7-A	8-C	9-C	6-B	7-A	8-C	9-C	10-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			数学			英語	
学年	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
明戸中	/	0	2	/	1	-1	/	2
埼玉県	/	0	2	/	2	0	/	3

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	明中1年	埼玉県	明中2年	埼玉県	明中3年	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	90.3	79.8	85.7	69.3	77.5	66.9
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	77.4	73.0	90.5	67.6	80.0	68.3
	・誰に対しても進んで挨拶をすることができる	80.7	84.7	90.5	82.9	95.0	85.3
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	83.8	88.6	90.5	89.8	97.5	92.4
	・相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉遣いができる	93.6	89.6	95.2	88.2	100	91.3
	・授業で学んだ内容について、さらに詳しく知りたい、学びたいと思う	64.5	65.6	85.7	62.5	65.0	57.8
	・授業や活動の始まる時刻を守ることができる	96.7	96.1	100	96.7	100	97.1
学習等への関心	・学校の宿題や試験でよい成績をとることができると思う	32.3	38.2	38.1	32.9	45.0	35.5
	・授業で学んだことを振り返り、自分が分かったことや分からないことを理解できる	80.6	72.1	80.9	66.7	80.0	72.6
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	77.5	56.9	90.5	69.3	72.5	42.4
授業について	・学習の準備を整え、授業に臨むことができる	80.6	91.6	100	91.7	92.5	94.0
	・先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる。	74.2	79.4	76.2	79.1	87.5	82.2
	・分からないことなどを質問しやすい雰囲気で行われた	74.2	69.5	71.4	68.7	62.5	65.0
	・先生は、授業やテストで理解していないところや、間違えたところについて、わかるまで教えてくれた	93.5	92.0	95.3	93.2	95.0	92.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	93.6	92.1	76.2	93.3	97.5	93.0
	・進んで掃除や美化活動に取り組み、学校をきれいにすることができた	93.6	88.0	95.2	87.5	92.5	89.2
	・学級での生活は楽しい	93.6	92.4	90.5	93.6	95.0	92.1

【質問紙分析】

- ・「授業や活動の始まる時刻を守ることができている。」「進んで掃除や美化活動に取り組み、学校をきれいにすることができた。」の割合が高いのは、学校生活の中で時・場・礼の取り組みが浸透している証拠である。
- ・「学級での生活は楽しい。」の割合が高いのは、職員が生徒理解のために学年を超えて情報を共有し、共通理解・行動連携に努め、個に応じた支援体制が適切にとられているためと考えられる。
- ・「地域の歴史や自然に関心を持っている。」の割合が高いのは、自校でのふるさと教育の実践、職員生徒と地域とのつながりを通じた行事等を実施しているためと考えられる。

◇伸びが見られた学級・教科での取組

- 【学級】・教え合える雰囲気づくりをつくるため、学活でグループ活動を取り入れている。
- ・朝の会、帰りの会で「係からの連絡」「学級委員からの話」等を大切にし、必要な情報や考えをアウトプットできるように日々努めている。
 - ・少人数クラスの特徴を生かして、机間指導など個に応じた丁寧な指導に取り組んでいる。
- 【国語】・小グループの活動などを通して、自分の考えや意見を発言できる環境をつくる。
- ・自分と違う考えや意見を尊重する姿勢を、グループ活動や教え合い活動の充実を通して育てる。
- 【数学】・生徒自身が考えを深め、自力解決する時間を確保する。
- ・早く課題の終わった生徒が、他の生徒に対して自分の考え方や解法を論理的に説明する機会を意図的につくる。
- 【英語】・わかる授業はもとより不得意な生徒でも「楽しかった」と実感できる授業の工夫。
- ・単元ごとに、単語テスト・単元テストを実施している。

◇一人一人をより伸ばすための取組

- ・がんばりま表を効果的に活用し、学習の質と量の向上を個別に支援していく。
- ・1日1ページの自学ノートへの取り組みを継続的に行っている。
- ・学級や学年の日々の生活の中で、係活動や当番活動の役割と責任を持たせる。活動には見通しを持って取り組ませ、生徒の満足感と居場所についてその成果を評価し、振り返りを行うことで、自己有用感をより高めていく。